

編輯室の内外

本年もはやくも三ヶ月を經過し隙行く駒の足はやく梅一輪一輪つゝの暖かさも櫻かさして今日もくらす頃とはなりぬ、大方各位の高援に依り四月號もどうやら期日に發行し得たることを感謝する次第である。更らに一段の高護を庶幾ふ。

静岡縣土木部長、長崎縣土木課長、千葉縣土木課長、福井縣土木課長の新任を見、秋田縣土木課長が退職した、其他府縣の土木首腦部に交迭があつた、之れは行政整理以外の事情に基きたるものであるが、退職者の内には深く同情に堪へぬものがあると同時に新任者には最も待望する所がある、由來土木事業が交通上産業上甚大なる役割をもつことは敢て贅言を要しない、夫れが國民生活上の實質的要素であり、國防上重要な施設なることに鑑み、世の戴脱的認識をたゞさしむることに着意し努力することが今日の喫緊事である。

とにかくにも満足の如き不満足の如き快心の如き不快心の如き感想を懐かせられた第六十七帝國議會は閉會した、政府は其協

編輯室の内外

賛を得た十年度の豫算九年度の追加豫算の實行乃至議決の取扱に付ては戒心することゝを要する次第である、其職に應じて忠誠を披瀝し時局の措置に付て遺憾なく、内外の政治宜しきを得んことを期すると言明するのみでなく、事悉く其實果を収めねばならぬ、空言益なし唯實行あるのみである、新滿洲の誘掖保護、財政の整理、産業の發達、教育の刷新、學術の振作、國民精神の振起と國防の充實は、空粗、臆臆、曖昧、模糊、決するが如く決せざるが如く行ふが如く行はざるが如き態度では舉國不安に陥るの外なきに至らん。國民就中政治家を以て任ずる者の最も反省熟慮すべきことである。

技術者が社會的地位の獲得に關して從來といへども技術者間に於て論議否不平不満の聲を發したものである、一般的に技術屋である、製圖者だ、測量者だと思はれて居る之れは技術に關しての國民的認識の幼稚なることを證して餘りある處であるが、技術者夫れ自身に於ても三省すべき點がないでもない、其所に事務家とは何等かの差異がある感を世に與へておるのである、前土木學會々長工學博士久保田敬一氏が本年二月

十五日土木學會通常總會に於て述べられた「土木技術者の社會的地位 (On the Social Position of Engineers)」の中に「吾人が最も務むべき所は猛運動によりて庶二無二に優越の地位を獲得することに非ずして、技術者の社會的地位を自動的の向上せしむべき基礎工作をなすことが最も肝要である」(土木學會誌第二十一卷第二號)と喝破された一句は技術者ならずとも玩味すべき言である、時と勢とに抗するは難事であるが去りとして自動的の向上も餘程の忍耐と努力とを要する、だが割切な一言である。(洩)

定價一部 五十錢
一ヶ年分 金 六圓

東京市麴町區外櫻田町一番地内務省内
發行所 社團 道路改良會
法人 電話銀座(57)四二七

東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二
發行所 小島 效

編輯者 東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常磐印刷所
印刷者 奈良直一